

巻頭言

日本ジェネリック医薬品学会 第9回学術大会にあたって

日本ジェネリック医薬品学会では、第9回学術大会を2015年6月13-14日に浜松において開催いたします。テーマは「ジェネリック・バイオシミラーのさらなる使用促進への挑戦」といたしました。ジェネリック医薬品のみならず「バイオシミラー」にも焦点を当てたいと考えました。それらの使用促進に向けては、これからも建設的に議論すべき内容や課題があることを「挑戦」という表現で表しております。また、学会名称は「日本ジェネリック医薬品学会」ですが、ジェネリックは議論の切り口であり、本質的には幅広く医薬品や医薬政策について全般的に議論できるような場（医薬政策学会，society for pharmaceutical policy and management）をイメージしてプログラムを考えております。

特別講演は、厚生労働省医政局経済課長の城克文先生と、東京山手メディカルセンター院長で中央社会保険医療協議会委員の万代恭嗣先生にお願いしております。パネルディスカッション（モデレータ：川上純一）では、厚生労働省保険局医療課薬剤管理官の中井清人先生より基調講演をいただいた後に、日本薬剤師会会長の山本信夫先生、日本病院薬剤師会の北田光一先生および万代恭嗣先生にもご登壇をいただいて、地域医療や病院診療における医薬品使用や薬剤師の役割等について意見交換したいと考えております。教育講演には、日本医学会利益相反委員会委員長も務められている曾根三郎先生に「臨床研究の倫理とCOI管理」をお話しいただきます。シンポジウムは「ジェネリック医薬品の新たなロードマップ」「ジェネリック薬を活かした地域連携の推進を目指して」「バイオシミラーの開発と使用促進にむけて」「製剤の品質と医薬品選択」の4企画で、医薬研究者に加えて行政・医療団体・製薬企業等の関係者にも多くご登壇いただく予定です。品質情報検討会の活動報告、一般演題、ランチョンセミナー5企画、企業展示等も準備しております。

一般の方々を対象に市民公開講座「みんなで築く、私たち静岡県の地域医療」も企画しております。静岡の医師・薬剤師・訪問看護師が県民の方々と一緒に、地域包括ケアシステムの時代に合った医療のあり方や住民の関わり方について考える内容です。静岡県や浜松市は健康寿命が日本で1-2番目に長い地域でもあり、地方開催らしい地域指向型の企画を考えております。

本大会に際しましては、以下の数多くの行政機関や医療関係団体より後援をいただいております：厚生労働省、日本医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本保険薬局協会、全国健康保険協会、健康保険組合連合会、静岡県薬剤師会、静岡県病院薬剤師会、浜松市医師会、浜松市薬剤師会。多くの製薬・医療関連企業からも様々な協賛をいただいております。日本ジェネリック医薬品学会及び本大会事務局や運営スタッフなど大勢の方にお手伝いをいただきまして本大会は開催いたします。お世話になっております皆様にご心より御礼を申し上げますとともに、当日には多くの方々にご来場いただきますことを心よりお待ちしております。

2015年5月

日本ジェネリック医薬品学会理事
浜松医科大学教授・医学部附属病院薬剤部長

川上純一